

頑張ってるス！秋田県民

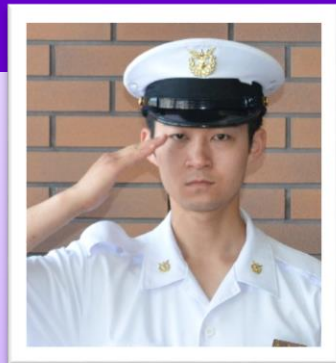
一人前の自衛官を目指して奮闘中の、秋田県出身隊員を紹介します！

防衛大学校



1. 入隊のきっかけ 2. 教育隊での生活を通じて感じたこと・自身の成長した点 3. 今後の目標

62期生



【氏名】
土田 元輝
【出身校】
秋田高校
【出身地】
秋田市

- もともと自衛隊に興味があり、防衛大学校のことはテレビで見て知りました。地本での体験搭乗や基地見学を通じて受験を決意しました。
- 時間を管理する能力や上級生や下級生、同期との交流関係を通じて社交性が身に着いたと思います。国際関係学科での学習を通じて安全保障に関する知識も増えました。
- 部活動の大会で良い成績を修めること、卒業論文をしっかりと書き上げること、体力・知力ともに秀でた幹部自衛官になることです。

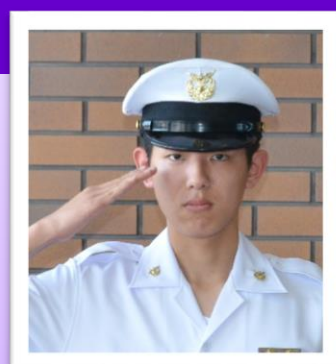
62期生



【氏名】
渡邊 優一
【出身校】
青森南高校
【出身地】
由利本荘市

- 大学在学中に、国際関係や日本の安全保障といった分野に深い関心を抱き、自ら安全保障や国防の中核を担うため働きたいと思ったことです。
- 生活においては、何度も自身を見つめ直す機会が巡ってくるがあります。集団生活や厳正な規律の中で、あるいは体力・精神力を消耗する訓練といった環境に置かれて、初めて自分がどのような人間であるかを客観的に分析できるようになります。
- 来年度は久留米にある陸上自衛隊幹部候補生学校において「陸曹長」という階級が付与され、いよいよ自衛官としての教育を受けることとなります。それに備え、体力や知識を更に向上させるべく授業や訓練に励んでいきたいと思っています。

63期生



【氏名】
寺谷 駿兵
【出身校】
秋田北高校
【出身地】
秋田市

- 父からの勧めに加え、当時通っていた空手道場の父兄の方に陸上自衛官の方がいて、東日本大震災における活動や海外派遣についての話を聞いたことがきっかけとなり、自分の目で広く世界を見て見識を深めるとともに、人々の役に立ちたいと考えようになりました。
- 防衛大学校入学前の自分は、周囲に依存していたように感じられます。しかし今では、社会人また公務員として自主自律を旨に自力で生活し、その上で相互に助け合うことにより、これまでの認識を改めるとともに社会人としての責任を意識することが多くなりました。
- 防衛大学校での生活も残り2年を切りました。今後は海上自衛官として、どの職種に就いても明確な目標を持って職務に臨むことができるよう、日々の訓練に自主的かつ積極的に取り組んでいきたいです。また、海外での勤務も予想されるので英語力を向上させたいです。

64期生



【氏名】
佐藤 真琳
【出身校】
秋田南高校
【出身地】
男鹿市

- 自衛官になりたいという明確な夢があったため、一般大学に進学するよりも防衛大学校に入校した方が自衛官に必要なエッセンスを吸収できると思いました。
- 本質を考える力が向上したと感じています。何を優先すべきか、規則の意味等を考えることが出来るようになりました。また、幹部自衛官に必要な知力・体力・精神力も平行して伸ばせていると思います。
- 防衛大学校の3本柱である「学生舎」「教育・訓練」「校友会」を全力で行い、多方面の能力を伸ばしていくとともに、海外派遣に行き日本のメリットになる知識・技能を身に付けたいです。

頑張ってるス！秋田県民

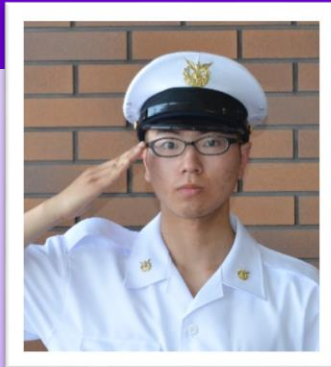
一人前の自衛官を目指して奮闘中の、秋田県出身隊員を紹介します！

防衛大学校



1. 入隊のきっかけ
2. 教育隊での生活を通じて感じたこと・自身の成長した点
3. 今後の目標

65期生



【氏名】
佐藤 顕
【出身校】
横手高校
【出身地】
湯沢市

1. 「防衛学」という防衛大学校にしかない科目を学びたかったことと、一般的な大学とは大きく異なる規律や訓練、学生舎での生活を通じて、将来の幹部自衛官としての資質を養えると考えたことが志望動機です。
2. 団体行動に合わせた時間管理がうまくできず、まだ苦戦することがありますが、自衛官として必要な基本動作や服装容儀を整えることに関しては、入校時と比べると上達したと思います。
3. 上級生に倣い、基本を遵守しながら応用力も身に付けて全般的な能力の向上を図り、将来の幹部自衛官として必要な資質をしっかりと養っていきたいです。

65期生



【氏名】
木村 宏樹
【出身校】
湯沢高校
【出身地】
湯沢市

1. 自衛隊の海外派遣活動を知って興味が湧き、私も世界の人々のためにできる仕事に就きたいと考え、入校を決意しました。
2. 最も感じたことは同期の大切さです。苦しい時も同じように頑張っている同期の姿を見ると、踏ん張ることができます。成長を感じた点は時間の管理が上手くできるようになったことです。少ない時間の中でも、やるべきことをしっかりとこなせるようになりました。
3. 1日1日全力で取り組み、後輩に尊敬され慕われるような上級生になることが目標です。